

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公 開 特 許 公 報(A)

(11) 特許出願公開番号
特開2004-181205
(P2004-181205A)

(43) 公開日 平成16年7月2日(2004.7.2)

(51) Int.Cl.⁷
A 4 7 B 7/00

F I
A 4 7 B 7/00

Z
テーマコード (参考)

審査請求 有 請求項の数 22 O L (全 7 頁)

(21) 出願番号	特願2003-103329 (P2003-103329)	(71) 出願人	390019839 三星電子株式会社
(22) 出願日	平成15年4月7日 (2003.4.7)		大韓民国京畿道水原市靈通區梅灘洞 4 1 6
(31) 優先権主張番号	2002-075153	(74) 代理人	100064908 弁理士 志賀 正武
(32) 優先日	平成14年11月29日 (2002.11.29)	(74) 代理人	100089037 弁理士 渡邊 隆
(33) 優先権主張国	韓国 (KR)	(72) 発明者	趙 豊衍 大韓民国京畿道水原市八達區靈通洞 (番地なし) 新元アパート 6 4 3 - 1 5 0 2

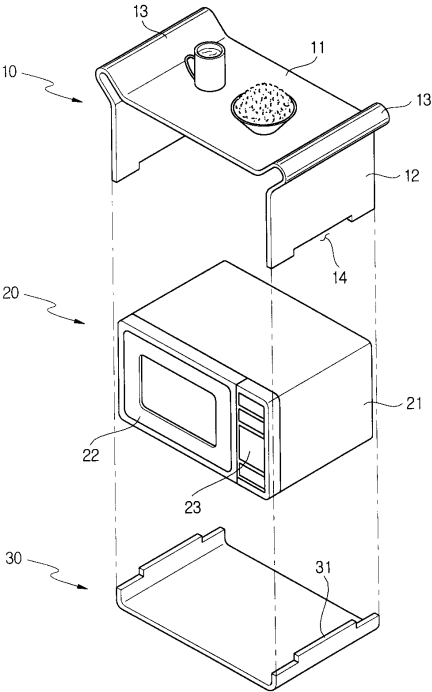
(54) 【発明の名称】 テーブル及びこれを備える電子レンジ

(57) 【要約】

【課題】 小さい空間に保管しやすいテーブル及びこれを備える電子レンジを提供する。

【解決手段】 平らに形成されたプレート部と、プレート部から延長される脚部と、プレート部の縁部と前記脚部の縁部を連結する取っ手部と、脚部から延長される支持部材とを含み、プレート部、脚部及び支持部材は電子レンジの外観をなすキャビネットを収容するための空間を形成する。

【選択図】 図 1



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

キャビネット用テーブルにおいて、
平らに形成されたプレート部と、

前記キャビネットを収容する外形を形成するため、前記プレート部から延長される脚部とを含んでなることを特徴とするキャビネット用テーブル。

【請求項 2】

前記プレート部の下面は前記キャビネットの上面に対応し、前記脚部の内側面は前記キャビネットの側面に対応することを特徴とする請求項 1 に記載のキャビネット用テーブル。

【請求項 3】

前記プレート部の下面は前記キャビネットの上面と接触し、前記脚部の内側面は前記キャビネットの側面と接触することを特徴とする請求項 1 に記載のキャビネット用テーブル。

【請求項 4】

前記キャビネット用テーブルは、取っ手部をさらに含むことを特徴とする請求項 1 に記載のキャビネット用テーブル。

【請求項 5】

前記取っ手部は前記プレート部から延長されるフランジからなることを特徴とする請求項 4 に記載のキャビネット用テーブル。

【請求項 6】

前記取っ手部は前記脚部に長く形成された開口からなることを特徴とする請求項 4 に記載のキャビネット用テーブル。

【請求項 7】

前記取っ手部は前記脚部に設けられた空洞からなることを特徴とする請求項 4 に記載のキャビネット用テーブル。

【請求項 8】

前記取っ手部は前記プレートに長く形成された開口からなることを特徴とする請求項 4 に記載のキャビネット用テーブル。

【請求項 9】

前記取っ手部は前記プレート部に設けられた空洞からなることを特徴とする請求項 4 に記載のキャビネット用テーブル。

【請求項 10】

前記キャビネット用テーブルは、
固定突起を有する支持部材と、

前記突起と結合するように前記脚部に設けられた固定溝とをさらに含むことを特徴とする請求項 1 に記載のキャビネット用テーブル。

【請求項 11】

前記プレート部の下面は前記キャビネットの上面と接触し、前記脚部の内側面は前記キャビネットの側面と接触することを特徴とする請求項 10 に記載のキャビネット用テーブル。

【請求項 12】

前記支持部材の上面は前記キャビネットの下面と接触することを特徴とする請求項 11 に記載のキャビネット用テーブル。

【請求項 13】

前記脚部は多数の脚からなることを特徴とする請求項 1 に記載のキャビネット用テーブル。

【請求項 14】

前記キャビネットは家電製品を収容することを特徴とする請求項 1 に記載のキャビネット用テーブル。

【請求項 15】

前記家電製品は電子レンジであることを特徴とする請求項 14 に記載のキャビネット用テ

10

20

30

40

50

ーブル。

【請求項 16】

前記家電製品はテレビ受像機であることを特徴とする請求項 14 に記載のキャビネット用テーブル。

【請求項 17】

前記家電製品は冷蔵庫であることを特徴とする請求項 14 に記載のキャビネット用テーブル。

【請求項 18】

キャビネット用テーブルにおいて、

平らに形成されたプレート部と、

10

脚部と、

前記プレート部の縁部と前記脚部の縁部を連結する取っ手部とを含んでなり、

前記プレート部、前記取っ手部、及び前記脚部は前記キャビネットを収容するための外形を形成し、

前記取っ手部は、前記脚部が前記キャビネットの側面部に弾性接触するように、弾性材から製造されることを特徴とするキャビネット用テーブル。

【請求項 19】

前記プレート部と前記脚部も弾性材から製造されることを特徴とする請求項 18 に記載のキャビネット用テーブル。

【請求項 20】

20

前記脚部は多数の脚からなることを特徴とする請求項 18 に記載のキャビネット用テーブル。

【請求項 21】

キャビネット用テーブルにおいて、

平らに形成されたプレート部と、

前記プレート部から延長される脚部と、

前記脚部から延長される支持部材とを含んでなり、

前記プレート部、前記脚部、及び前記支持部材は前記キャビネットを収容するための空洞を形成することを特徴とするキャビネット用テーブル。

【請求項 22】

30

前記脚部は多数の脚からなることを特徴とする請求項 21 に記載のキャビネット用テーブル。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は電子レンジに係り、より詳しくは保管の容易なテーブル及びこれを備える電子レンジに関するものである。

【0002】

【従来の技術】

一般に、テーブルは、その上面に載せられた飲食物などを床面から所定距離だけ離隔させることにより、飲食物などが容易に取れるようにするものである。

40

【0003】

このようなテーブルは、飲食物などが載せられるように上面が平らに形成されたプレート部と、該プレート部から下方に所定距離延長され、プレート部が床面から所定距離離隔するようにする脚部とからなる。

【0004】

ところで、このようなテーブルは、脚部により所定の高さを有するので、プレート部と床面間の空間を活用することができない。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】

50

したがって、本発明は前記のような従来の問題点を解決するためになされたもので、その目的は小さい空間に保管可能なテーブル及びこれを備える電子レンジを提供することにある。

【 0 0 0 6 】

【課題を解決するための手段】

前記のような目的を達成するため、本発明は、平らに形成されたプレート部と、前記キャビネットを収容する外形を形成するため、前記プレート部から延長される脚部とを含んでなるキャビネット用テーブルを提供する。

【 0 0 0 7 】

前記プレート部の下面は前記キャビネットの上面に対応し、前記脚部の内側面は前記キャビネットの側面に対応し、前記プレート部の下面は前記キャビネットの上面と接触し、前記脚部の内側面は前記キャビネットの側面と接触する。

10

【 0 0 0 8 】

前記キャビネット用テーブルは、取っ手部をさらに含む。

前記取っ手部は、前記プレート部から延長されるフランジ、前記脚部に長く形成された開口、前記脚部に設けられた空洞、前記プレートに長く形成された開口、又は前記プレート部に設けられた空洞からなる。

【 0 0 0 9 】

前記キャビネット用テーブルは、固定突起を有する支持部材と、前記突起と結合するように前記脚部に設けられた固定溝とをさらに含む。

20

【 0 0 1 0 】

前記プレート部の下面は前記キャビネットの上面と接触し、前記脚部の内側面は前記キャビネットの側面と接触し、前記支持部材の上面は前記キャビネットの下面と接触する。

前記脚部は多数の脚からなる。

【 0 0 1 1 】

前記キャビネットは家電製品を収容する。

前記家電製品は電子レンジ、テレビ受像機、又は冷蔵庫である。

【 0 0 1 2 】

また、本発明は、平らに形成されたプレート部と、脚部と、前記プレート部の縁部と前記脚部の縁部を連結する取っ手部とを含んでなり、前記プレート部、前記取っ手部、及び前記脚部は前記キャビネットを収容するための外形を形成し、前記取っ手部は、前記脚部が前記キャビネットの側面部に弾性接触するように、弾性材から製造されるキャビネット用テーブルを提供する。

30

【 0 0 1 3 】

前記プレート部と前記脚部も弾性材から製造される。

前記脚部は多数の脚からなる。

【 0 0 1 4 】

また、本発明は、平らに形成されたプレート部と、前記プレート部から延長される脚部と、前記脚部から延長される支持部材とを含んでなり、前記プレート部、前記脚部、及び前記支持部材は前記キャビネットを収容するための空洞を形成するキャビネット用テーブルを提供する。

40

前記脚部は多数の脚からなる。

【 0 0 1 5 】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の好ましい実施形態を添付図面に基づいて詳細に説明する。

図 1 に示すように、本発明によるテーブル 10 は、飲食物などが載せられるように上面が平らに形成されたプレート部 11 と、該プレート部 11 の両端から下方に延設された一対の脚部 12 とを含んでなる。したがって、プレート部 11 が脚部 12 により、テーブル 10 が置かれた床面から所定距離だけ離隔するので、プレート部 11 上に載せられた飲食物などが容易に取れることになる。

50

【 0 0 1 6 】

本発明の一実施形態において、プレート部 1 1 の両側と脚部 1 2 間には、使用者がテーブル 1 0 を容易に握るように、取っ手部 1 3 が突設されている。本発明のほかの実施形態（図示せず）において、前記取っ手部 1 3 は脚部 1 2 に形成された通孔である。本発明のさらにほかの実施形態（図示せず）において、前記取っ手部 1 3 は前記脚部 1 2 に形成された空洞である。本発明のさらにほかの実施形態（図示せず）において、前記取っ手部 1 3 はプレート部 1 1 に形成された通孔である。本発明のさらにほかの実施形態（図示せず）において、前記取っ手部 1 3 は前記プレート部 1 1 に形成された空洞である。

【 0 0 1 7 】

本発明によるテーブル 1 0 は多様な家電製品のキャビネット 2 1 の外側に装着できる。この家電製品には、テレビ受像機、冷蔵庫、トースター、トースターオープン、対流式オープン、VCR、DVD プレイヤー、時計、ラジオ、ステレオ装置、電子レンジと、略六面体状のキャビネットを有するそのほかの家電製品が含まれる。以下には電子レンジ 2 0 に適用する実施形態を説明する。

10

【 0 0 1 8 】

電子レンジ 2 0 はその内部に設けられたマグネトロン（図示せず）から発生される高周波を用いて飲食物を調理するか又は暖めるもので、飲食物に含有された水分の分子配列を繰り返し変化させることにより発生する分子間の摩擦熱により飲食物の調理を行うようになっている。

【 0 0 1 9 】

このような電子レンジ 2 0 は、略六面体状の外観をなすキャビネット 2 1 の内部に、調理物を収納して調理を行う調理室（図示せず）と、マグネトロンなどの電装品が設けられる電装室（図示せず）とが画成されている。

20

【 0 0 2 0 】

このような電子レンジ 2 0 のキャビネット 2 1 の前面には、一側にドア 2 2 がヒンジで結合され、調理室を開閉するようになっており、他側には、各種の操作ボタンが設けられ、電子レンジ 2 0 の機能を必要に応じて制御し得るようにする制御盤 2 3 が設けられている。

【 0 0 2 1 】

このような電子レンジ 2 0 のキャビネット 2 1 には、前述したように、テーブル 1 0 が着脱可能に装着される。前記テーブル 1 0 は、前記電子レンジ 2 0 の外観をなすキャビネット 2 1 に着脱できるように、プレート部 1 1 の下面と脚部 1 2 の内側面がキャビネット 2 1 の上面及び側面に相応する形状を有するように形成される。

30

【 0 0 2 2 】

プレート部 1 1 の下面は、キャビネット 2 1 の上面に支持されるように、キャビネット 2 1 の上面に相応する平面状に形成され、二つの脚部 1 2 間の距離はキャビネット 2 1 の幅に相応するようになっている。テーブル 1 0 がキャビネット 2 1 の外側面に装着されると、プレート 1 1 の下面はキャビネット 2 1 の上面に支持され、脚部 1 2 の内側面はキャビネット 2 1 の側面に支持される。

【 0 0 2 3 】

一実施形態において、前記取っ手部 1 2 は、脚部 1 2 がキャビネット 2 1 の側面に弾性接触するように弾性材から製造される。この取っ手部 1 3 は、使用者が取っ手部 1 3 を少し曲げて脚部 1 2 をキャビネット 2 1 の側面から広げることにより、テーブル 1 0 がキャビネット 2 1 から分離されるようにする。ほかの実施形態において、プレート部 1 1、脚部 1 2、及び取っ手部 1 3 は全て弾性材から製造される。

40

【 0 0 2 4 】

テーブル 1 0 がキャビネット 2 1 に装着された後、テーブル 1 0 がキャビネット 2 1 の上面及び側面に沿って前後に遊動する可能性がある。よって、この現象を防止するため、本発明は支持部材 3 0 を設ける。

【 0 0 2 5 】

50

前記支持部材 30 は、電子レンジ 20 がその上面に載せられるように、板状に形成され、その両側には、テーブル 10 の脚部 12 の下端を支持するために突出した固定突起 31 が設けられる。テーブル 10 の脚部 12 の下端には、前記固定突起 31 に対応する固定溝 14 が設けられる。

【0026】

したがって、テーブル 10 がキャビネット 21 に装着され、キャビネット 21 がテーブル 10 の両脚部 12 間に嵌合されると、両脚部 12 の下端に設けられた固定溝 14 に支持部材 30 の固定突起 31 が結合されるので、テーブル 10 が電子レンジ 20 に対して前後に遊動することを防止することができる。この際、支持部材 30 は、電子レンジ 20 の重量により、その遊動が防止される。

10

【0027】

前述したように、本実施形態は家電製品として電子レンジ 20 を例として説明したが、これに限定されず、テレビ受像機、冷蔵庫など、略六面体状のキャビネットを有する多様な家電製品にも適用することができる。

【0028】

以下、このような本発明によるテーブル及びこれを備える電子レンジの動作及び作用効果を図 1 及び図 2 に基づいて詳細に説明する。

使用者がテーブル 10 を電子レンジ 20 から分離して使用しようとする場合、テーブル 10 の取っ手部 13 を握り、上方に持ち上げると、固定溝 14 が固定突起 31 から離脱して、テーブル 10 がキャビネット 21 から分離される。したがって、分離されたテーブル 10 に飲食物などを載せて用いることができる。

20

【0029】

テーブル 10 を使用した後、保管しようとする場合、テーブル 10 を電子レンジ 20 のキャビネット 21 に装着すると、図 2 に示すように、テーブル 10 のプレート部 11 の下面はキャビネット 21 の上面に支持され、両脚部 12 はキャビネット 21 の両側面に支持される。この際、テーブル 10 の脚部 12 の下端に設けられた固定溝 14 には前記支持部材 30 の固定突起 31 が挿入結合されるので、テーブル 10 の遊動が防止される。

【0030】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明によるテーブル及びこれを備える電子レンジは、テーブルの下部空間を、電子レンジ 20 を収容するように効果的に活用することができる。

30

【0031】

また、テーブルが電子レンジのキャビネットの外側面を取り囲んでいるので、テーブルを交替することで、電子レンジの色相及びデザインを簡単に変更することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明によるテーブル及びこれを備える電子レンジの分解状態を示す斜視図である。

【図 2】図 1 のテーブル及びこれを備える電子レンジの組合状態を示す斜視図である。

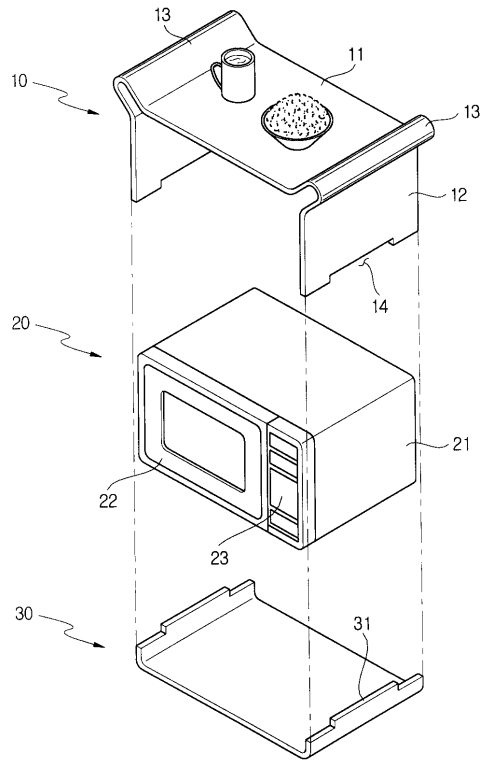
【符号の説明】

- 10 テーブル
- 11 プレート部
- 12 脚部
- 13 取っ手部
- 14 固定溝
- 20 電子レンジ
- 21 キャビネット
- 22 ドア
- 23 制御盤
- 30 支持部材
- 31 固定突起

40

50

【図 1】



【図 2】

